

# 我々が提出した長時間労働規制法

目的：過労死ゼロ、ワークライフバランス、労働生産性アップ

労働時間・休息时间・休日の規制	実効性の強化
①残業時間の上限規制	⑥実労働時間の記録を義務化
②インターバル（休息时间）規制	⑦違反した企業名の公表
③変形週休制の厳格化	⑧罰則の強化
④事業場外みなし労働時間の明確化	
⑤裁量労働制の <b>実労働時間</b> の上限規制	昨年4月に提出済み

平成29年1月27日 衆議院予算委員会

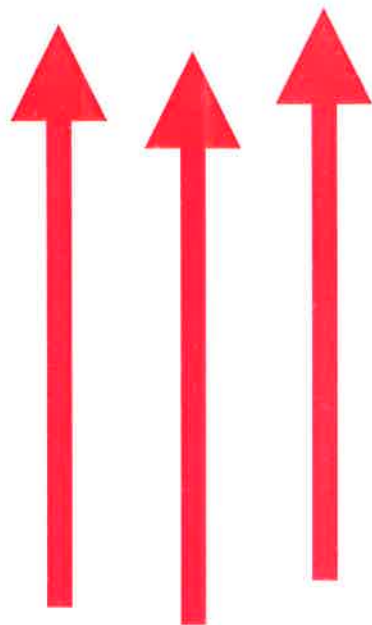
井坂信彦（民進党）

パネル資料①

井坂事務所にて作成

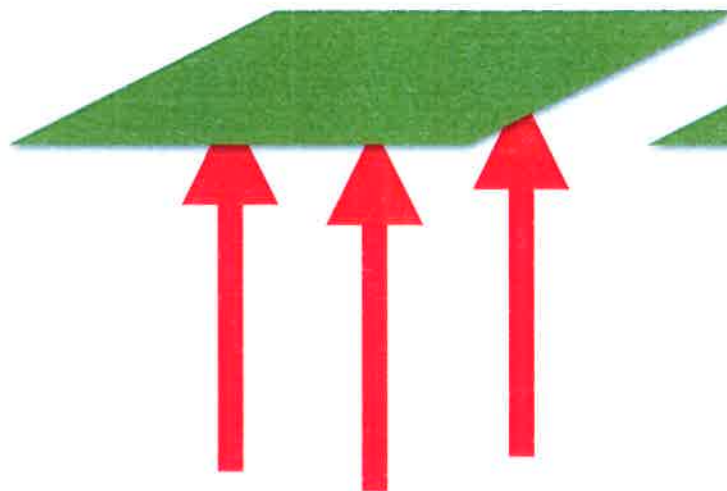
# 残業規制と同時に抜け穴が拡大？

残業時間に上限なし



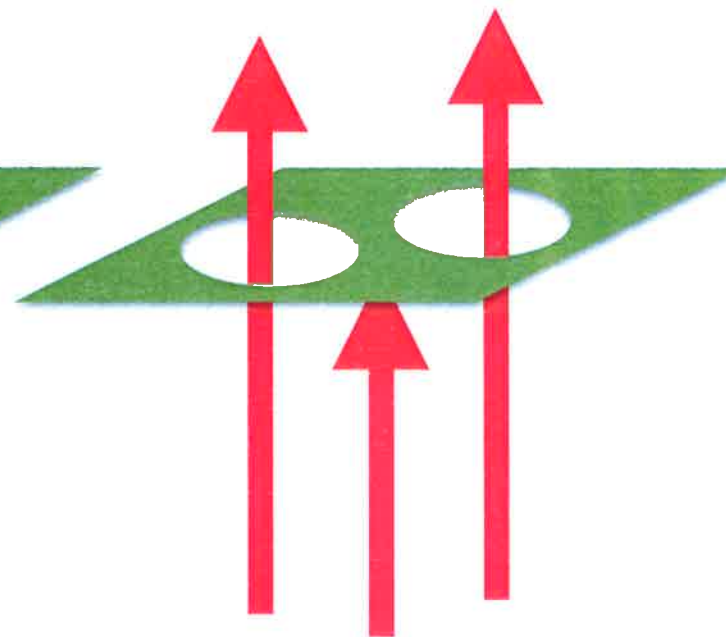
①現状

残業時間に上限を設ける  
(裁量労働制も含む)



②我々の法案

裁量労働制の拡大と  
高度プロフェッショナル制度



③政府案は？

平成29年1月27日 衆議院予算委員会

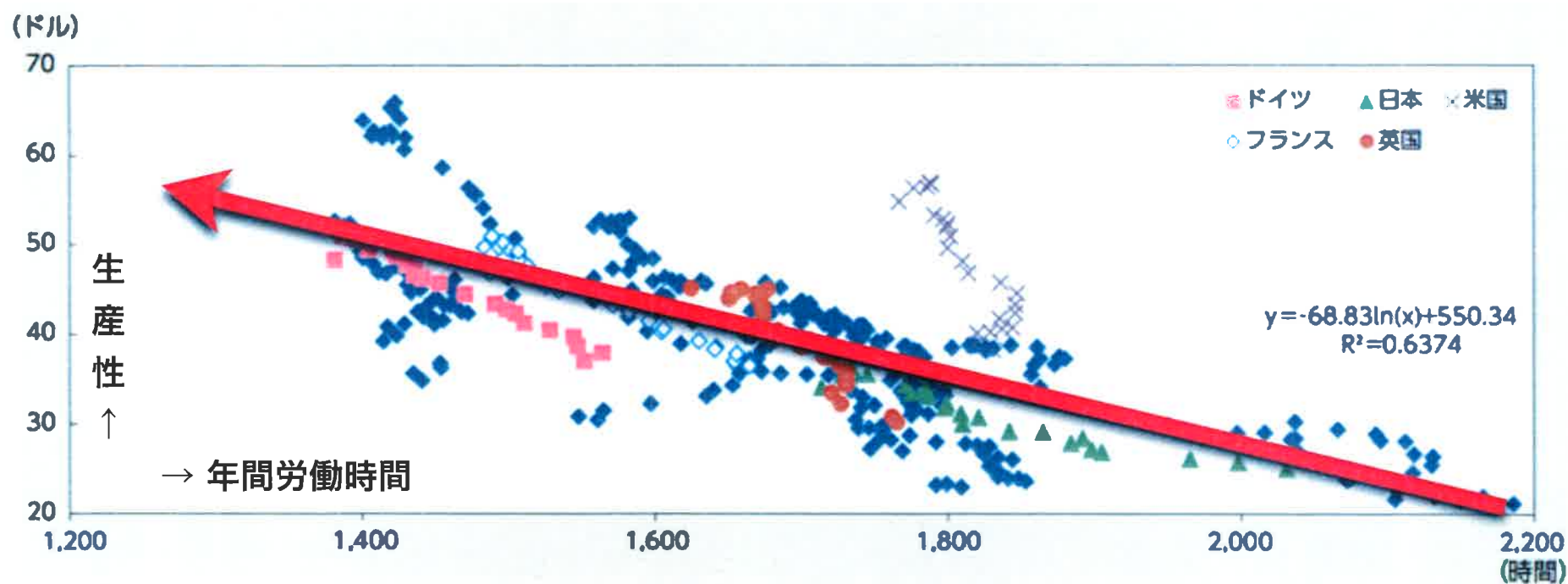
井坂信彦 (民進党)

パネル資料②

井坂事務所にて作成

# 労働時間が短い国ほど、生産性が高い

ドイツ人は日本人より労働時間が20%短い  
が、労働生産性が1.5倍もあるので、**ドイツ人の方が年収が多い。**



平成29年1月27日 衆議院予算委員会

井坂信彦 (民進党)

パネル③

厚労省「平成27年版 労働経済の分析」より